

## 「スマホでタックン」 特別委員会

1月25日発行の「タクシージャパン」の団塊耕志録第50回コラムでは「全タク連への提案」について書いた。その中で、タクシーサイトを、全タク連の傘下に置き、「あらゆる移動サービスのマッチングをワンストップで受けるインフラとしましょう!」と提案させて頂いた。

そうした思いを1月30日のタクシー問題懇談会の新年会の席で、重責にあるタクシー会社の社長に申し上げたところ、そういう話は東旅協の広報委員会に提案するのが良いのでは? とのアドバイスを頂き、タクシー問題懇談会の会長でもある、東旅協広報委員会委員長の秋山利裕山三交通社長に、お話を聞いて頂けるようお願いをした。早速、2月4日に東旅協広報委員会の関係者がお話を聞いてくれ、提案の趣旨が全タク連にも関わる事なので、全タク連の広報にも打診をし



秋山利裕 社長

てくれる事になった。結果、まず東旅協の広報委員会として再度じっくりオリジナルの趣旨を聞き、また仮に業務提携をする場合のいくつかのケース案を提案するよう、宿題を頂いた。3月11日広報委員会の会議の場を借り、再度オリジナルグループの思いを述べてさせて頂いた。現在「スマホでタックンの特別委員会」で、共同配車の為の共通基盤化事業の検討がすすんでいるが、問題は利用者がこのスマホ共同配車の仕組みに、どれだけアプローチしてくれるかという事であり、その為に12年間のタクシーサイトの持つ蓄積、資産を是非業界として活用してほしい旨申しあげ、さらに特

## 清野吉光氏のコラム 第52回

# 団塊耕志録

清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年(株)タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。

## お金でできる事、 できない事



措法の「適正化と活性化」の趣旨、さらに利用者利便の為にタクシー業界自らが、こうしたインフラを積極的に作る意味を、改めて述べさせて頂いた。また、業務提携のケースを4パターン提案させて頂いた。結論として、広報委員会の若手のメンバーの方を中心に、前向きに検討を続けようという川野繁広報担当副会長のお言葉を頂く事ができた。

一方、昨年からの「スマホでタクシー研究会」からの発展的流れの中で、東旅協「スマホでタックン」特別委員会が設置され、コンサルタント会社のサポートを受けて、スマホ共同配車



共通基盤化システムの検討も進んでいる。オリジナルグループも有り難い事に、このシステム構築の候補業者として、プレゼンコンペに参加させて頂く事ができた。もちろん、このコンペと先のタクシーサイトの東旅協との業務提携の提案とは直接関係の無いものであり、このコンペの結果如何にかかわらず、タクシーサイトの持つ資産を業界に活用させて頂きたいという思いは変わらない。

### お金でできない事:

今回のコンペには新聞報道によると、多くのIT事

業者が参加しているようだ。特に話題なのは、ロンドンに本社を持つヘイロージャパンさんがKDDIの出資を受けて、車載端末も含めての提案である。ヘイローさんが黒船なのか、業界の救世主なのか、私には良くわからないが、業界の環境が大きく変わってくる事を示しているのではないかと思う。

今回のコンペの結論がどうなるかは、もちろん現時点では誰にもわからないのだが、どうなるにしても非常に興味深い結果になるのではと予感している。ひとつは業界全体が利用者全体の利便性の為に、自ら動くかどうかという点、もうひとつはお金さえ積めばできる事と、できない事があり、それをどう判断するのだからという点。

目に見えない資産、価値をどう評価し、判断と決断の中に織り込んで行くのか？今話題のTPPの是非の判断にも通ずる問題が、存在するのではないかと思う。TPPでは、単にTPPによるGDPの増減が大



事なのではなく、どのような国を作るのか？ という事であり、そしてタクシー業界で言えば、どのようなタクシー業界を作っていくのか？ に関わる問題ではないかと…。

**オリジン創立30年**

2013年2月21日、オリジンは創立30年を迎えさせて頂いた。20周年の折はお客様を静岡にお招きし、記念式典、記念パーティーを開催させて頂いた。そして「未来への志」として「新しいタクシーのビジネスモデル創造のお役に立つ」事

を掲げた。30周年の今年には、残念ながらそのような記念イベントを開催できないでいる。もちろん弊社の業績の問題もあるが、それ以上に「第3次創業」に向けての「経営改革」の途上にある、という事の方が大きい。

昨年掲げた経営ビジョン「ITで総合生活移動産業創造を支援する」を実現し、オリジンのこれからの30年を維持、発展させるための事業方針の確立と経営改革(第3次創業)を成し遂げなければ、形式的な30周年行事は意味を持たない。これからのオリジンの3年間を、集中的な「第3次創業」期間として位置付け、新しいタクシーのビジネスモデルをIT分野で担いうる総合的な実力をつける期間としたい。そして、真にタクシー業界の発展に役立ちうるソフトハウスとして、遅ればせながらの30周年をお客様と共に祝う事ができたらと思う。

とは言っても、この30年を支えて来てくれた社員の人とその家族に、ささやかな感謝の宴を第32期の期首

全体会議後に懇親会として持ちたいと思う。

**書籍「団塊耕志録」：**

本来なら、30周年を記念してオリジンの社史を作成、発行したいところだが、「第3次創業」の実現を待って、社員の人と一緒に「オリジン社史」を改めて、作り上げたいと思う。そこで今回はとりあえず、清野が2001年のタクシーサイトの初期に書いた「団塊耕志録タクシーサイト版7稿」及び2008年10月からの「団塊耕志録タクシージャパン版51稿」、また1995年より毎年オリジンの社員の人へのメッセージとして発信してきた「年頭の辞」をまとめたものを、書籍として発刊させて頂くことにした。個人の責任によるコラム故、オリジンとしての公的な見解では無いが、30年のオリジンの歴史の一端と、オリジンの社長を務める清野が、お客様と社員の家族に、こんな人間だと理解して頂ける一助になればと思う。

(2013年3月17日記)

**助かたー**

「お客さまの困りごとを解決します」

「今日はお客様が、お困りごとを解決します」

「今日はお客様が、お困りごとを解決します」

「今日はお客様が、お困りごとを解決します」

**タクチャージで**

売上  
やりがい  
コミュニケーション  
サービス  
イメージ

**UP!!**

「売上UP」の秘密は、  
ドライバーさんの「やりがい度UP」  
「タクチャージ」は、タクシー専用の携帯電話  
電話とお客さまへのサービス製品です。ドライバー  
さんとお客さまとの気持ちよいコミュニケーション  
ツールとして役立ちます。お客様に感謝される事  
で、ドライバーさんのやりがい度もアップ。  
「タクチャージ」で新社のイメージをアップする  
とともに、売上アップにもご利用ください。

タクシー車内  
充電OK! **TAXCHARGE**

● 対応機種 ●

1. docomo-FOMA/SoftBank-3G
2. auCDMA/au-WIN
3. ipad, iPhone-3G/4G, iPod (第五世代、classic)、iPodtouch、nano
4. その他microUSBを使用するゲーム機、デジタルカメラ、携帯型小型PC等

(販売元)  
株式会社システムオリジン  
**03-3834-8352**